

『Men's non-no』は何を語っているのか
～男性の観点に立った目次タイトル分析～

1A181305-8

政治経済学部政治学科 4 年

横山 美帆

【概要】

著者には、自分を含む多くの人がいまだに「男らしさ」「女らしさ」の規範に囚われて生きているという実感があり、性別に焦点を当てたメディア分析をしたいと考えていた。そこで男性ファッション誌を「男性に求められる男性像を映し出す鏡」と見做し、代表例である『Men's non-no』（集英社）を分析することで、男性側に立ったメディア分析をすることとした。

論文は5章構成である。序章では仮説などの前提条件を設定し、第1章では雑誌や男らしさについて概説し、研究対象誌である『Men's non-no』の基本情報を述べた。第2章では先行研究を列挙し、第3章では計量テキスト分析ソフト KH Coder を用いた、目次タイトル分析の手法を記述した。第4章では①計量テキスト分析、②内容分析を行うことで、Men' non-no 上に描かれた男性像がどのように変遷してきたかを検証し、第5章でまとめを行った。

最終的には、『Men's non-no』に描かれた男性は年代経過とともに「男らしさ」から離れてきており、近年は草食化傾向にあることが判明した。また『Men's non-no』のコンテンツは、創刊当初は女性受け目的だったものが、現代に近づくにつれて男性自身の満足のためのものに変化しており、「うちなるもの」へと収斂してきているという結論を出すことができた。